

種目（生活）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍（新編 あたらしいせいかつ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさに気付いている児童の姿が具体的に分かるよう配慮されている。 ・ 写真や挿絵等によって、見付ける、比べる等、多様な学習活動例を示し、気付いたことを基に考えられるよう配慮されている。 ・ 自分のよさや可能性に気づき、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりできるよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 入学直後の学校生活に対応できるようにスタートカリキュラムを位置付けてあり、安心して学習を始められるよう配慮されている。 (2) 身近な自然や地域の人々と関わって見つけた「まちのよさ」を発信する等、地域への愛着を深められるよう工夫されている。 (3) 気づきを確かなものとしたり関連付けたりして、気付いたことを表現し交流する学習活動が随所に掲載され、興味・関心・意欲を喚起し、伝え合う活動の充実が図られるよう工夫されている。 (4) 一人一人の活動や気づきを多様な方法で表現する活動が発達段階の特性に応じて進むよう、上巻と下巻で配慮がされている。 (5) 対象物と児童が一度に目に入る写真等で、活動への意欲や期待感が高まるよう工夫されるとともに、もっと知りたいことに応えられる場所に二次元コードが配置されるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 季節の流れを軸に時系列で構成され、一つの活動を五段階で示すとともに、他教科とも関連付けながら資質・能力が段階的に高まるよう配慮されている。 (2) 実物大の動植物図鑑などが示されおり、児童が自分の生活の中で実物を見付けやすいよう配慮されている。 (3) 色付く場所が広がっていく鳥瞰図が設けられ、地域を繰り返し探検する活動を通して、空間的な認識が広がり社会的な見方・考え方の基礎につながっていく過程が分かるよう配慮されている。 (4) 「学びをふかめる」が設けられ、気づきを確かなものとしたり気付いたことを関連付けたりする表現活動や交流活動の中で、主体的・対話的で深い学びの姿が分かるよう配慮されている。 (5) 写真や挿絵を説明する言葉が簡潔で、小単元名や本文、マーク、安全・衛生面など紙面の各要素を同じ場所に掲載するといった工夫がなされている。 (6) 学習や生活を振り返る自己評価や、友達と互いのよさを認め合う相互評価の場面が設定され指導に役立つよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気づきを確かなものにしたり関連付けたりする表現活動や交流活動が、挿絵や写真等で具体的に分かるよう示されている。 ・ 他教科とも関連付けながら資質・能力などが段階的に高まるよう配慮されている。

種目（生活）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	大日本図書（新版 たのしいせいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な活動や体験から、人との接し方、学校や地域、家庭でできる生活習慣、生活技能が身に付けられるよう配慮されている。 ・ 児童自身に考えさせるための投げかけを示すことで、問いや考えをもてるよう促し、思考力が育まれるよう配慮されている。 ・ 児童の思いや願いを基に、次の活動へとつながる学習過程の流れを意識した構成となるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムに配慮したページを設け、単なる適応指導とならないよう、指示ではなく、児童が考え選び、実行する流れを意識し、その後の教科学習の素地となるよう配慮されている。 (2) 身近な人々、社会及び自然を学習の対象とし、繰り返し対象と関わり、自分との関係の中で活動できるよう工夫されている。 (3) 友達との伝え合い、クラスでの話合いの場面や板書、掲示を繰り返し示してあり、一人一人の気づきが深められるよう工夫されている。 (4) 生活科の活動が生活に生かされる場面を取り上げ、自分の生活を豊かにしようとする資質・能力を育成するよう配慮されている。 (5) モノクロでイメージを膨らませるページや単元の扉の見開き全面を使った写真、もっと知りたいことに応えられる場所に二次元コードを掲載し、学習意欲を高められるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元の配列は、動植物の成長、自然の変化などの季節、時間の経過や地域の特色を考慮するとともに、学校行事との関連も図りながら活動できるよう配慮されている。 (2) 動植物の継続的な飼育栽培活動を通し、命を大切にする心や相手の立場になって考える心などが育まれるよう配慮されている。 (3) 身近にあるものを使って遊びに使うものを作る場面を多数掲載し、挿絵の友達同士の投げかけから気づきの質を高めるヒントを示して、児童自身で気づきの質を高められるよう配慮されている。 (4) 双方向の交流を意識し、相手からの感想や意見をもらう場面を設けるなど、人との交流活動のよさや楽しさを味わい、気づきの質を高めることができるよう配慮されている。 (5) 諸感覚を活用することを促す仕掛けや紙面を盛り込み、児童が体全体を使って直接対象に働きかける生活科特有の学びが実現できるよう配慮されている。 (6) 活動の成果を互いに認め合ったり、過去の自分と比較して自分の成長に気付いたりできるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸感覚を活用した活動・体験を重視し、児童を実感の伴った理解に導くよう配慮されている。 ・ 伝え合い、交流する場面を繰り返し取り上げ、個人の学びを集団で高め合うよう配慮されている。

種目（生活）

発行者名 採択基準	学校図書（みんなとまなぶしょうがっこう せいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な知識及び技能の基礎、安全に関する事項を各種コーナーで学習できるよう工夫されている。 ・ 発達段階に応じて、対話の場を設定し、思考を深め、豊かな表現力が身に付くよう配慮されている。 ・ 振り返り場面を大切にし、自分のよさに気付いたり、自己肯定感が高まったりするよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムを位置付け、活動や体験の場が、1学年では学校の周辺、2学年では地域へと空間認識の発達に応じて広がるよう配慮されている。 (2) 4人のキャラクターが登場し、児童の発達段階に応じた対話の場を設定し、児童の活動が深まり広がるよう工夫されている。 (3) 児童の言葉を基にしたリード文と活動の楽しさを伝える写真やイラスト、単元マーク、吹き出し等が、児童の興味・関心、主体的な活動や伝え合いを引き出すよう工夫されている。 (4) 資料性の高いページや巻末の図鑑ページが充実しており、児童が自分で活動を広げていけるよう配慮されている。 (5) 表記、表現は児童の発達段階を考慮し、児童の負担にならないよう配慮されている。また日々の授業で、もっと知りたいことに応えられる場所に二次元コードを掲載するよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の得得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 活動をイメージしやすい単元マークが示されると共に、探検、栽培、飼育、遊び、成長の五つの大単元で構成されており、他教科と関連させて学習が進められるよう配慮されている。 (2) 活動ごとに大単元で構成され、地域や学校、児童の意識の実態に応じて学習時期が組み替えられるよう配慮されている。 (3) 素材や教材が複数提示されており、地域や学校の実態、児童の興味・関心に応じて選択して、繰り返し扱えるよう配慮されている。 (4) 4人のキャラクターによる様々な交流場面が示されており、児童が伝え合ったり、交流したりする活動のヒントとなるよう配慮されている。 (5) 児童の目線からの写真が使用され、児童の活動意欲を引き出すとともに、児童が活動内容や活動の流れを見通せるよう工夫されている。 (6) 具体的な活動の場面ごとに参考となる学習カードが例示され、活動を振り返り、自己の成長を自覚できるよう配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動をイメージしやすい単元マークが示されるとともに、他教科と関連させて学習が進められるよう配慮されている。 ・ 児童の意識を大切にし、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう配慮されている。

種目（生活）

<div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">教育出版（せいかつ）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> • 基本的な知識及び技能の基礎、安全に関する事項を「やくそく」や巻末の「学びのポケット」で学習できるよう工夫されている。 • 発達段階に応じて、表現活動が系統的に設定されており、思考を深め、豊かな表現力が身に付くよう配慮されている。 • 全ての単元が「はっけんロード」をもとに学習が展開され、意欲や自信をもって次の単元へ進むことができるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 園での生活をイメージし安心感がもてるようスタートカリキュラムが盛り込まれ、発達段階に沿って興味・関心が広がり、活動内容や情報量が徐々に豊かになるよう配慮されている。 (2) 全国各地の特色ある写真を用いながら、地域や学校の実情に応じて、活動が深まるよう工夫されている。 (3) 全ての単元導入に「わくわくスイッチ」を設定し、子どもの多様な思い願いを言葉にしなが、期待感をもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。 (4) 「学びのポケット」を繰り返し活用することで生活を豊かにしていくための資質・能力を身に付けられるよう配慮されている。 (5) めあてとそれに伴う写真が大きく掲示されていることで、児童が見通しをもつことができ、動き出したくなるよう配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 教科目標から抽出した育む六つの力をサイコロマークで示し、他教科との関連や生活科の特質に応じた指導がなされるよう配慮されている。 (2) 栽培や飼育活動が継続的に行えるよう配列され、情報機器を用いながら、主体的な学びを後押しできるよう配慮されている。 (3) 写真や吹き出しの中で活動のつまずきやその解決方法を示すことで、自分自身の課題と重ねながら繰り返し活動することができるよう配慮されている。 (4) 身近な人々との関わりや交流活動が設定されており、交流を通して児童の学びが高まったり、深まったりしていくよう配慮されている。 (5) ICTの活用例を豊富に掲載し、児童の学習を後押しできるよう配慮されている。また、個別の学びを促す場所に、二次元コードを配置する工夫がされている。 (6) 小単元末には「書き込み欄」や「ぐんぐんハシゴ」が用意され、自分の学びを振り返る自己評価の場が設定されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> • 思考力を磨く「ヒント」のコーナーを奇数ページの右側に掲載し、多様な学習活動ができるよう配慮されている。 • 学習の動機付けを明確にして、児童がめあてをもって主体的に学習を進めていけるよう配慮されている。

種目（生活）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">信州教育出版社（せいこつ）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通した連続的で具体的な活動や体験を通して、社会事象、自然事象、自分自身について気付けるよう配慮されている。 ・ 友達同士の学び合いや情報交換の場、発表会などが位置付けられ、自己の学びを表現できるよう配慮されている。 ・ 動植物との継続的な関わりや四季を通した直接体験の中で、自らが主体的に対象への働きかけることができるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 入学直後の児童が安心感をもてるようにスタートカリキュラムのページを掲載するとともに、発達段階に沿って児童の興味・関心が広がり深まっていくよう配慮されている。 (2) 同じ対象に年間を通して繰り返し働きかけることのできる構成となっており、対象への思いを深められるよう工夫されている。 (3) 「感動体験」「探究活動」「表現活動」が多様に示されており、より深い学びにつながる情報交換の場が位置付くよう配慮されている。 (4) 活動の端緒となるような吹き出しやイラスト、写真、活動や体験の例が示され、多様な発想に対応できるよう配慮されている。 (5) 観音開きページの使用（4か所）、児童の意識に沿った本文、吹き出し、対話等により、児童の思考が深められるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童にとって身近な、地域の豊かな自然や日常的な事象を取り上げた単元構成となっており、他教科、総合的な学習の時間と関連付けられるよう配慮されている。 (2) 児童が思いや願いを実現していく学習の過程が、吹き出しや写真、さし絵などで示されるよう配慮されている。 (3) 児童がさし絵や写真から活動の広がりや想像したり、試行錯誤しながら活動したりして学習を進めていけるよう配慮されている。 (4) さし絵や吹き出しの中に、児童が、友達や家族、地域の人々と双方向的な交流活動が行われている様子が示され、学習が深まっていくよう配慮されている。 (5) 県内の学校の実践をもとにした、写真やさし絵、文章、作品が多く掲載されている。また、学習の見通しがもてるように、巻頭に二次元コードを配置する工夫がなされている。 (6) 振り返りの場面を大切にし、自分の生活・成長・家族・地域との関わりが自覚できるよう配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動が児童の願いから立ち上がるように工夫され、自ら課題をもって学習できる展開になるよう配慮されている。 ・ 長野県の地域に根ざした体験活動が豊富に掲載されており、多様な学習ができるよう配慮されている。

種目（生活）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	光村図書出版（せいかつたんけんたい）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が身近な人々、自然、社会と関わる中で対象の特徴やよさや楽しさを感じられるよう配慮されている。 ・ 対象と関わったり、試行錯誤したりしながら、思いや願いを実現しようとする姿を写真やイラストで分かるよう配慮されている。 ・ 児童が目的意識をもって活動に臨み、自ら考え、判断しようとする態度を身に付けられるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童が自信をもって学校生活を始めることができるようにスタートカリキュラムを位置付け、言葉や文章も発達段階を考慮した表現で書かれており、活動意欲がもてるよう配慮されている。 (2) 各単元の構成が3段階で構成され、学習のスタートからゴールまでを見通しながら、学習が深まるよう工夫されている。 (3) 各ページの見出しが児童の言葉で表現され、興味・関心を引き出せるよう工夫されており、児童の活動や発見などを交流し合えるよう配慮されている。 (4) 多様な活動の気付きやヒントがイラストや写真で掲載され、児童の活動が広がっていくよう配慮されている。 (5) 児童が活動するときに思ったり感じたりしていることをイラストで掲載し、自分らしく学ぶことのよさに気付くことができるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none"> (1) 活動のまとまりごとに単元を構成したり、他教科との合科的な指導方法を示したりして、相互の学習効果が高まるよう工夫されている。 (2) 学びを深めるヒントが示され、児童が繰り返し対象に関わり試行錯誤しながら思いや願いを実現できるよう配慮されている。 (3) 「おすすめの やさいの食べ方を きいてみよう」のように、試行錯誤の過程や問題解決の例が示されており、児童が学習を進める上で手だてとなるよう工夫されている。 (4) 自分自身への気付きから、家族や地域の人たちへの相手意識をもった活動へと広がり、学校と家庭との連携、双方向的な交流活動が行われるよう配慮されている。 (5) 内容に即した多様なイラストや写真が掲載されているとともに、注意が必要な学習内容には、二次元コードを配置する配慮がなされている。 (6) 全ての小単元で「ふりかえろう」を位置付け、自分の学びを振り返ることができるよう配慮がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動への思いや願いをもてる写真やイラストを配置し、単元全体を児童自身が見通すことができるよう配慮されている。 ・ 自分らしく学ぶよさをユニークな文章や絵で表現されており、思いや願いをもちながら協働的に学べるよう配慮されている。

種目（生活）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">啓林館（せいかつ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関わりに気付いている児童の姿が、写真やイラスト、吹き出しで示されるなど、子供の気付きが伝わるよう工夫されている。 ・ 発達段階に応じて、表現活動等を系統的に構成するなど、思考を深め、豊かな表現力が身に付くよう配慮されている。 ・ 児童の思いや願いが次の活動につながるように、「めくり言葉」を設定し、活動が連続して進められるよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムを位置付け、幼児期に育まれた資質・能力を大切にしながら、安心して学校生活が始められるよう配慮されている。 (2) 児童の思いや願いを高める活動例や学習対象が紹介されており、学校や児童の実態に合わせて取り組めるよう工夫されている。 (3) 「こんなときどうしよう」のコーナーでは、単元の学習で予想される課題が示され、クラスでの話し合い活動で活用できるよう工夫されている。 (4) 「学びのヒント」では、学習に必要な基礎知識や学び方のポイントを掲載し、見通しをもって学習できるよう配慮されている。 (5) 興味・関心を喚起する写真やイラストで、変化や作り方を示したり、もっと知りたいことに応えられる場所に、二次元コードを掲載したりする工夫がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 季節に沿って単元が構成されており、生活科の学習と他教科との関連を踏まえながら活動が広がり、深まっていくよう配列が工夫されている。 (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現できるよう配慮されている。 (3) 「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」等の多様な学習活動や、試行錯誤したり繰り返したりして何度も対象と関わる学習活動が位置付けられている。 (4) グループで考えたり話し合ったりする活動の様子が具体的に示されており、協働的な学習を通して気付きの質が高まるよう配慮されている。 (5) 言葉、絵、動作、劇化、ICT活用など、児童の表現活動や交流活動への興味・関心を引き出すような工夫が様々なところでなされている。 (6) 「できるかな できたかな？」コーナーでは、学習過程や成果を振り返り、自らの成長や学びの深まりが実感できるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元は「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成され、活動が発展し、深まっていくよう工夫されている。 ・ 児童の生活圏が学習の対象や場として設定されており、児童が身近な環境に直接働きかける学習活動が行えるよう配慮されている。